

# 3.11の 今がわかる会議2022



「考える」岩手、宮城、福島で活動されている団体の取組事例から

11年経過した東日本大震災の現状と課題を知り、これからをともに考えます

「関わる」改めて、東北の課題を日本が抱える課題と捉えて、東北に関わるきっかけづくりをともに考えます



参加費  
無料

## 【 テーマ 1 】

### 地域コミュニティの現在地

～11年目の現状と課題～

1月15日(日)13時～16時

震災から11年が経過した被災地の地域コミュニティは、住民が帰還しコミュニティ形成をこれから始めるところ、様々な支援が入りながらもコミュニティが形成されていないところ、形成されたコミュニティが解散してしまったところ、コミュニティの運営を持続可能な体制へ転換するフェーズにきているところなど一様ではありません。震災でゼロから始まった地域コミュニティづくりの現状と課題を、岩手、宮城、福島の方からお聞きます。

## 【 テーマ 2 】

### 復興まちづくりの現在地

～11年目の現状と課題～

1月29日(日)13時～16時

東日本大震災から11年目が経過し、被災地では人口減少、高齢化、若者の減少による担い手不足や基幹産業衰退、関係人口の創出、地域活力の発掘などまちづくりにおいてさまざまな課題が挙げられており、まちの賑わいを取り戻すために一からまちづくりに取り組む地域も多くあります。復興から今、そして将来のまちづくりに取り組む方々に被災地の今の現状をお話いただき、皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

■参加方法: オンライン(Zoom)による参加

■参加対象: 東日本大震災に関心のある方 / 東北に関わりを持たれたい方

■申込方法: QRコードか右URLから申込みください <https://jpn-civil.net/2014/blog/2022/12/3112022.html>

■プログラム: ※テーマ1、2共通

① 開会 ② 登壇者の取組報告 ※登壇者は裏面 ③ パネルディスカッション

④ 参加者と登壇者の意見交換 ⑤ 岩手と宮城で活動する団体紹介 ⑥ 閉会

■主催: 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN) ■助成: 復興庁コーディネート事業

■協力: NPO法人いわて連携復興センター / 一般社団法人みやぎ連携復興センター

一般社団法人ふくしま連携復興センター / 一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター



申込はこちらから



東日本大震災支援  
全国ネットワーク

## 地域コミュニティの現在地

～11年目の現状と課題～

### NPO法人陸前高田まちづくり協働センター

#### 黄川田 美和氏

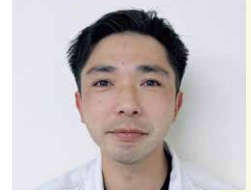
「地域づくり」「まちづくり」に関わる活動をしています。この分野に足を踏み入れることになったきっかけは、東日本大震災でした。職を失い市の臨時職員を1年間務める中で、中間支援という言葉は知りませんでしたが必要性を感じ「地域づくり」「まちづくり」は「誰かがやってくれるもの」ではない事に気付きました。



### 株式会社寿広

#### 大和田 智一氏

陸前高田市生まれ、立正大学を卒業後、関東で生活をしていましたが、震災を機に帰郷。帰郷後、障がい福祉事業所へ勤務し、障がい福祉分野の復興事業等へ携わる。その後、障がい者の就労支援等に従事。2019年より現職。陸前高田市の市営住宅管理業務を行っている。



### 東松島市あおい地区 会長

#### 小野 竹一氏

震災により東松島市大曲浜地区の自宅を失う。矢本運動公園西地区の自治会長となり、笑顔や元気を取り戻せるコミュニティづくりに奮闘。2014年5月より東松島市あおい地区まちづくり整備協議会会長として、防災集団移転における住民同士の話し合いを進める。2016年4月にあおい地区内の3つの自治会を横断する組織、あおい地区会を設立し、会長となる。



### 社会福祉法人 浪江町社会福祉協議会

#### 池崎 悟氏

福島県双葉郡浪江町出身。町内で自動車整備工場を経営し生計をたてるも、震災による全町避難となり事業継続を断念。生活の為、2011年5月に浪江町役場臨時職員となり、8月から当初は雇用創生の一環でもある生活支援相談員として社会福祉協議会へ。臨時から常勤を経て、2013年に正規職員となり現在に至る。



## 復興まちづくりの現在地

～11年目の現状と課題～

### 一般社団法人マルゴト陸前高田

#### 古谷 恵一氏

神奈川県横浜市出身。所属していた大学のアカベラサークルの活動で、震災前2008年から陸前高田市を訪問。震災後は、関東の教育会社にて約5年間働きながら定期的に同市を訪れ、「もっと陸前高田のことを知りたい、もっとたくさん人にも知って欲しい」という思いが強くなり移住。現在は、観光や研修の受入れを行う仕事に従事。



### 一般社団法人イシノマキ・ファーム 代表

#### 高橋 由佳氏

精神保健福祉士・職場適応援助者(ジョブコーチ)、日本ファンドレイジング協会准認定ファンドレイザー。2011年、こころの病を持つ人たちの就労・就学支援を行うNPO法人Switchを設立。16年には、「ソーシャルファーム」を理念とした就農支援の同法人を設立し、石巻市北上町で農業の担い手育成を行う。また2022年7月より石巻市内にブルワリー(イシノマキホップワークス)をスタートした。



### 一般社団法人双葉郡地域観光研究協会 代表

#### 山根 辰洋氏

東京都出身。東日本大震災をきっかけに2013年双葉町に委嘱職員として参画。2016年に双葉町民と結婚し、支援者から地域を創る当事者として、生業(人生)を通じた地域再生を目指し独立。2019年、観光産業、交流・関係人口創出を通じた地域再生を目指す、一般社団法人双葉郡地域観光研究協会(F-ATRAs)を設立。双葉町議会議員も務める。

